



こどもが被害となる事故を防ぎましょう！

学校への道はすっかり雪道になりました。事故統計では小学生のケガのある事故ではその約6割が登下校中に起きています。

ドライバー、保護者、学校関係者の皆さん、こどもを交通事故から守るために安全運転に努めるとともに、交通安全の声かけをお願いします。

安全運転の励行！



< 時間にゆとりをもった運転を >

朝は身支度、車の雪下ろし、暖気運転など何かと時間が掛かります。時間がないとつい慌ててしまい、確認などが疎かになりますので時間にゆとりをもって行動しましょう！

< 交差点における早めのブレーキ >

交差点付近は、通過車両により道路が磨かれてツルツルになっていますので、スピードダウンと早めのブレーキを！

繰り返し伝えましょう！



< 道路は危険な場所！ >

道路上は車が走行する場所であり、道路で遊んだりすることは大変危険な行為であることを伝えましょう。

< 交通ルールの遵守！ >

信号などを守ることを伝えるとともに、なぜ守らなければいけないのかを伝えましょう。

< 「車に気を付けてね」の一言を！ >

家を出るとき、学校を出るときにちょっとした一言はこどもの耳に残るものです。

< 交通事故関係者の手記集の紹介 >

実際に交通事故の当事者の手記に触れることで交通事故を身近なものとして捉えることができます。一般財団法人北海道交通安全協会では手記をまとめた「癒されぬ輪禍」を発行しており、教育の一つとしてご活用されてはいかがでしょうか。

皆さんの一言で子供の見守りを行いましょう！